

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ① 第三者評価機関名

(公益社団法人) けいしん神奈川

## ②施設・事業所情報

名称：大和市立若葉保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：吉田 真弓	定員（利用人数）：130名（125名）
所在地：神奈川県大和市鶴間1-25-3	
TEL：046-261-3603	ホームページ： <a href="http://www.city.yamato.lg.jp/web/hoiku/hoiku0001.html">http://www.city.yamato.lg.jp/web/hoiku/hoiku0001.html</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：昭和29年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：大和市	
職員数	常勤職員：34名 非常勤職員：17名
専門職員	保育士：30名 保育士：13名
	調理員：3名 調理員：2名
	看護師：1名 用務員：2名
施設・設備の概要	（居室数）10 （設備等）
	保育室6 調乳室1 職員休憩室1 事務室兼医務室1 調理室1
	鉄筋コンクリート造2階建て

## ③理念・基本方針

## 【保育理念】

子どもの心とからだ（生きる力）の基礎を育む

## 【基本方針】

- ・健康、安全な環境の中で、子どもの豊かな感性や健やかな心とからだを育つように愛情と誠意を持った保育をします。
- ・一人ひとりの成長の目を大切にし、遊ぶ楽しさや、友達と一緒にいる喜びなどを感じられる保育を大切にします。
- ・子どもと保護者のおかれた状況や意向を受け止めながら、保護者と手を取り合い、子育ての喜びや楽しさを共感し合える保育を目指します。
- ・地域育児センターとして関係機関との連携を図り、地域の子育てを支援します。

## ④施設・事業所の特徴的な取組

## ○保育内容の特色

- ①リズム運動遊びに取り組んでいます。
- ②運動遊びに取り組んでいます。
- ③絵画製作に取り組んでいます。
- ④異年齢保育に取り組んでいます。

○公立保育園としての特色

- ①民間保育施設との交流及び保育内容への支援
- ②保育の安全及び保育水準向上に向けた取組
- ③障がい児保育の促進
- ④「地域子育て連絡会」の開催

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年4月14日 ～ 令和3年3月17日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（平成25年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1. 保育理念・方針の具現化のため、園長のリーダーシップのもと、しっかりした組織体制を整え、日々の保育においても一歩踏み込んだ特段の努力と前向きな姿勢が強く感じられます。

保育理念・方針については公立保育園として統一して定めていますが、園長はこれを具体化するために、園を取り巻く環境を(しっかり)分析し、当園の保育の質の向上のためには、保育内容の弛まぬ改善とそれをしっかり支える人材育成が重要と見定めています。保育内容については、定期的に振り返りを行うなど恒常的な見直し・改善に加え、社会のトレンド、現状の園に期待されるニーズにもしっかり目を向け、市の施策を踏まえつつ、インクルーシブ保育など、斬新な考えを取り入れ、子ども・保護者・職員が共に理解し育ち合うことができる取組を行っています。

また、人材の育成については市の研修プログラムに基づいて現場の状況や職員個々の状況（意欲やスキルアップに向けた考え方、保育に関する知識・技能レベルなど）を考慮し、総合的な視点に立って実施されています。振り返りや面接を通し、意思の疎通を重視した親身な指導やアドバイスがなされています。職員間の学びあい、連携にも留意し、互いに意見を自由に言い合える場や雰囲気作りにも努めています。これらの取組を通じて、知識・技能と心構えの両面のバランスが取れたしっかりした組織が育成されていることが強く感じられました。

今回の訪問調査でのヒアリング、自己評価の文面、アンケート調査の結果などからもこれらを表す内容が随所に確認されています。

この体制を今後も継続・発展させ保育の質の向上に努めていかれることが期待されます。

2. 子ども一人ひとりを尊重し、思いやりを持ち、優しく寄り添った保育が実践されています。

保育理念に「子どもの心とからだ（生きる力）の基礎を育む」と掲げられ、常に子どものことを第一に考えて職員全員が熱い情熱と優しさをもって子どもに接し、保育を行っています。一人ひとりに目を配り見守り、常に子ども全員の安全やのびのび成長することに気を配っている姿を見ることが出来ました。日常の保育でも数多くの配慮や気配りが感じられます。各クラスには子どもの手の届くところに玩具を用意し、絵本、ままごとコーナーなどがあり、子どもがくつろげるようにしています。パーテーションを利用して、必要に応じて支援の必要な子どもが落ち着ける空間作りにも配慮しています。遊具・玩具は子どもの年齢や発達に合わせるとともにクラスからの要望を受けて、種類、量、質などをきめ細やかに検討し子どもの思いをしっかり受けとめながら揃えています。

各クラスとも、様々な遊びのコーナーを設置し、好きな遊びを選んでじっくり遊べるようにして、ワクワクして夢中になって遊び、繰り返し楽しんでいる姿が確認されま

した。

また、障がいを持った子どもを、多数受け入れて、それぞれの障がいの特性に応じた配慮を行い、安定して過ごすことができるようにしています。一人ひとりの状況を的確に捉え、課題を明確にし、個別支援計画を作成するなど子どもにやさしい保育が実践されています。

利用者アンケートにおいても、「遊び」や「生活」をはじめ、子どもに関する項目の評価は非常に高く、子どもの人格が尊重され、大切にされていることを多くの保護者が実感されていることが表れています。

### **3. 職員は保育に対する使命感、高いモチベーションを持ち、互いに協力し助け合い、チームワークをもって日々の保育に当たっています。**

子どもたちは日々心身ともに成長し、旺盛な好奇心や個性が芽生え、その行動は千差万別で、保育の現場では思いもよらないことがしばしば起こり、そのなかで、子どもたちの安全、安心を確保し、成長発達をしっかりと後押ししていかなければなりません。そのため、職員には強い意志と情熱に加え、臨機応変かつ柔軟な対応が求められます。メンバー全体で互いに協力し助け合い、チームワークをもって日々の保育に臨んでいる姿が認められました。園庭での遊びにおいて、多様な遊びに子どもたちと一緒に汗を流し、子ども目線でふれあいながらも相互に職員間で連携し、一人ひとりに目を配り、互いに声を掛け合い、合図し合って連携を取り、見守りの空白や隙間ができないように細心の注意を払って思いやりをもって子どもに接しています。それぞれが担当の職務を遂行しながら、しっかり連携し、情報が共有され、チームとして信頼感が醸成されている証であると思います。この状況が継続されるよう今後も頑張りたいと思います。

#### ◇改善を求められる点

### **1. 保護者に対し、行事などについてのより丁寧な情報の発信・連絡やコミュニケーションの強化が期待されます。**

園として、従前より保護者に対し丁寧かつきめ細やかな情報発信・連絡とコミュニケーションの強化に努めてきたところです。特に、「感染症などについての情報提供」「子どもに関する重要な情報の連絡体制」「懇談会や個別面談などの機会」などについては、今回のアンケート調査での満足度は非常に高い状況にあります。しかしながら、「送り迎えの際の情報交換」や「行事の開催日や時間帯」については相対的に満足度はやや低い状況が見られます。自由意見欄にも複数の改善提案や要望が寄せられています。この状況は当園に限らず多くの園で共通的に見られることですが、当園においても以前より種々の検討・改善を重ねてこられました。未だ不十分な状況にあるようです。引き続き継続的な努力が期待されます。

### **2. 採用形態の多様化による勤務形態の多様化へのよりの確な対応が望まれます。**

会計年度任用職員など新制度が設立され、特定の時間帯のみの短時間勤務やローテーション勤務など職員の勤務形態はさらに複雑・多岐化してきています。個人の事情や立場が違ふことにより、保育に対する考え方、知識・技術にもいろいろ差異が生じてくるのも実態です。

制度の多様化は基本的には時代の流れに沿ったものであり、今後は新制度に則り、これに適合し、活かしていくことが求められます。しかしながら、組織としては、日々の保育において、園の方針に対する理解不十分な点や保護者の意向を汲んだ支援とその対応に向けた判断が異なる状況が生起しているのも事実です。園としても改善是正に取り組み、特に、職員の意識改革をしっかり推し進めているところでもあります。今後も引き続き継続的な努力が望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度の第三者評価受審を機に、これまでの園の取組を再確認するなかで、改めて職員間で「園が目指す保育のあり方」を見つめ直し、共有する時間を持つことができました。今回の評価では、職員一丸となって「子どもを中心にした保育」の実践に向け、時には議論し時には葛藤しながらも諦めることなく目指す保育を継続してきたことについて高く評価していただくことができ、保育に向かう思いがより一層強くなりました。今回の保護者アンケートでは、率直なご意見をいただき課題も見えました。今後も保護者からのご意見を真摯に受け止めながら、園の理念を大切にされた保育の継続に尽力していきます。また、職員の勤務形態にとらわれることなく全職員の資質向上にも努めるとともに、公立保育園としての役割も念頭に置きながら、今後も広い視野を持ち続け地域に開かれた園でありたいと思います。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり